

福岡県	機関名	福岡県	
	部署名	商工部 スタートアップ推進課	
	電話連絡先	092-643-3449	
事業名	デザイン振興事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>本県における産業デザインの振興を目的として設立された「福岡県産業デザイン協議会」の活動を支援し、県内企業のデザインを活用した付加価値の高い商品開発、販路開拓を促進。</p> <p>■福岡県産業デザイン協議会(設立:平成9年11月13日/事務局:福岡県商工部スタートアップ推進課)  会長:古宮 洋二(九州旅客鉄道株式会社 代表取締役社長執行役員)  会員:協議会の趣旨に賛同する企業、デザイナー、支援機関等 189 個人・団体(令和7年3月末時点)</p> <p>■福岡デザインアワード  平成11年創設。デザイン性に優れた商品・サービスの審査表彰及び展示を実施。 (第26回福岡デザインアワード)  また、受賞商品 PR 動画の制作や博多駅等でデジタルサイネージ等による交通広告を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次審査(書類審査):令和6年9月9日</li> <li>・最終審査及び授賞式:令和6年10月31日</li> <li>・会場:JR九州ホール(福岡市博多区博多駅中央街1-1 JR博多シティ9階)</li> <li>・応募数:217件</li> <li>・表彰:15件(大賞1件、金賞4件、銀賞10件)</li> </ul> <p>■商品開発・販路拡大支援  ・県内企業によるデザインを活用した付加価値の高い商品やサービス開発を促進するため、商品開発の課題を抱える企業と学識経験者やデザイナーを交えた議論を行う、デザイン開発ワークショップを開催。  ・福岡デザインアワード受賞企業等について、クラウドファンディングへの出展支援や大規模小売店と連携した販売会の実施などによる販路開拓支援を実施。</p> <p>&lt;参考 URL&gt;  福岡県産業デザイン協議会 <a href="https://www.fida.jp/">https://www.fida.jp/</a>  福岡デザインアワード <a href="https://award.fida.jp/">https://award.fida.jp/</a></p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成9年度	22,038 千円



福岡県	機関名	福岡県工業技術センター インテリア研究所	
	部署名	技術開発課	
	電話連絡先	0944-86-3259	
事業名	家具ブランド力向上支援事業 製品企画力高度化支援事業「NIKAWA」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>■目的 新製品開発に意欲ある福岡県内の家具・工芸品等の製造業 1社 1社に対して企画から製品化までを一貫して伴走支援し、ブランドの基幹となる製品の創出や製品企画力を高めて、戦略的な製品開発が自発的にできる活力ある企業への育成を図る。</p> <p>■概要 本事業に参加意欲のある企業を公募により募集し、審査会において選定(年間3社程度)。 製品企画に関する助言を行うため、デザイン系の大学教授や外部の有識者、インテリア研究所によるアドバイス体制を整備。 助言で具体化した製品企画を形にするデザイナーを公募し、審査会において選定(1社につき1提案)。 選定されたデザイナーのデザイン案を基に、設計・試作・評価を行い製品化へとつなげる。</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成30年度	3,257千円

<b>福岡県</b>	機関名	北九州市	
	部署名	産業経済局地域経済振興部サービス産業政策課	
	電話連絡先	093-582-2050	
事業名	サービス産業振興事業(デザイン産業振興事業)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>■北九州市では、デザイン関連産業を含む、サービス産業の振興を図っている</p> <p>■福岡県産業デザイン協議会(事務局:福岡県)との連携 当協議会への負担金の支出、市内事業者への「福岡デザインアワード」、「デザイン開発ワークショップ」への応募呼びかけ</p> <p>■市内デザインの利用拡大支援 北九州市の伝統デザイン(小倉織)の利用拡大に向けた他業種とのマッチング支援</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成15年度	10千円

福岡県	機関名	福岡市	
	部署名	経済観光文化局新産業振興部コンテンツ振興課	
	電話連絡先	092-711-4329	
事業名	クリエイティブ関連産業の振興		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>○福岡市では、ゲーム、映像、ファッション、音楽、デザインなどのクリエイティブ関連産業の振興に取り組んでいる。</p> <p>○福岡県産業デザイン協議会(事務局:福岡県)との連携</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>福岡デザインアワード</li> <li>受賞商品の販路開拓の支援</li> <li>デザインを活用した商品開発の推進</li> </ol> <p>○交流創出事業</p> <p>福岡市内の事業者にも広く呼びかけて連携し、イベント等を通じて、上記5分野のクリエイティブ関連産業の振興を図っている。</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成8年度	109,619 千円

佐賀県	機関名	佐賀県	
	部署名	産業労働部ものづくり産業課	
	電話連絡先	0952-25-7421	
事業名	ものづくり革新強化事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>1. 事業目的</p> <p>経営環境が激変する中で、県内ものづくり企業は、脈々と引き継がれてきた組織風土や固定観念に加え、日々の受注生産への対応などに追われ、新たな取組を進める余裕がない企業も多く、県内ものづくり企業が持続的に発展していくためには、これまでにない思考や方法で経営を見直すなど、主体的に変化・挑戦することが重要であり、本事業により県内ものづくり企業が時代に適応した経営体制の構築や新事業への挑戦を後押しする。</p> <p>2. 事業概要</p> <p>県内ものづくり企業を対象とし、課題設定型伴走支援やクリエイターの発想力・表現力等を用いた伴走型リブランディング事業を実施し、企業の「自己変革力」を高めるモデル事例(5社)を創出する。また、県内ものづくり企業の自己変革力を高め、既成概念に捉われない発想で新たなチャレンジを促進するため、モデル事例の成果を情報発信し、県内ものづくり企業とモデル事例経営者等との交流の場を設ける。</p> <p>3. 支援対象者及び支援社数</p> <p>県内ものづくり企業を対象に5社を予定。</p> <p>4. 支援内容</p> <p>公募により選定した県内ものづくり企業の以下取組を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 支援企業の経営者と同事業の中小企業診断士が対話を重ね、自己変革力の土台となる“企業らしさ(ありたい姿)”を言語化。</li> <li>○ “企業らしさ”を軸にあらゆる経営活動に一貫性を持たせ、経営者や社員、取引先などステークホルダーの認識を合致させる。</li> <li>○ クリエイティブ支援が必要な場合は、必要に応じてクリエイターを伴走支援チームにアサインする。</li> </ul>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定 ※令和8年度までの予定		令和6年度	R6 8,011千円 R7 11,527千円

佐賀県	機関名	佐賀県
	部署名	農林水産部 農業経営課
	電話連絡先	0952-25-7570

事業名	さが農村イノベーション推進事業「さがアグリヒーローズ」
-----	-----------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

■目的

県内外に広く知られるような農村ビジネス※の成功事例を、令和8年度までに5件以上創出する。  
 ※農村ビジネスとは、農産加工品の開発・製造や農産物直売所、農業体験・観光農園、農家レストラン、農家民宿などの農村にある資源・魅力を活かしたビジネスで、生産者の所得向上と地域の活性化を目指す取組。

■事業概要

農村ビジネスの成功事例を創出するため、さが農村イノベーション推進事業による支援を「さがアグリヒーローズ(SAH)」と称し、農家に対してデザインの視点を取り入れた商品開発やブランディング等をサポート。  
 具体的には、プロポーザルによってプロデューサー(総括クリエイター)を決定し、総括クリエイターは公募により重点支援者となる農家5組を選定。令和8年度までに農村ビジネスで成功事例となるような事業計画(4カ年プラン)を立案。重点支援者の目標の実現に向けて、総括クリエイターは綿密なヒアリングのもと、デザイナーや料理研究家などの専門クリエイターを全国各地から選定し、対象者に応じた支援を実施する。  
 ※令和5年度から第2期がスタート。第1期(令和1~4年度)については、5組の重点支援者全員が目標の売上高 1,000 万円増を達成。  
 ※2022 年度グッドデザイン・ベスト 100 受賞(『農業分野におけるデザイン経営の導入』としてさがアグリヒーローズの取組が、「明日を切り拓く力をもったデザイン」「未来を示唆するデザイン」として高い評価を得て受賞。)

■活動内容

(1)重点支援者の目標の実現に向けた取組  
 重点支援者 5 組それぞれにプロジェクトチームを組み、打合せを実施。ブランドイメージを鮮明にするロゴマークやパッケージ、HP、農家の生産物を使った加工品等を制作。

(2)情報発信

①事業全体の広報ツールとして、インスタ、Facebook、HP を令和5年に開設  
 打合せに関する活動レポート、イベントの告知、1期生・2期生・クリエイターなどの実績等について情報発信  
 インスタグラムアカウント状況:フォロワー数 1,484 人(R6.3 末時点)総閲覧数 4.1 万件

②県内広報イベント「Farmer's Table 最後の授業」(SAHとして参加)

期日 令和6年12月8日(日)  
 場所 旧福富中学校(白石町)  
 内容 販売、パネル展示、ワークショップ、SAHの生産物を使ったお弁当の開発・販売  
 来場者 約800人

③農村ビジネス入門セミナー(SAH入門塾・人材育成)

期日 令和7年2月14日(金)  
 場所 UPLIFT SHIMOJYUKU(嬉野市)  
 内容 SAH1期生による自身の経営理念や取組内容、SAHの実績等についての紹介、ランチ交流

④成果報告会

期日 令和7年3月12日(水)  
 場所 JONAI SQUARE(さがテレビ1F)(佐賀市)  
 内容 総括クリエイターによる本年度の取組成果報告、重点支援者及び専門クリエイターの紹介、質疑応答、意見交換  
 参加者 約20名

<参考 URL>

<https://saga-agriheroes.com/>



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和元年度	17,972 千円

<b>佐賀県</b>	機関名	佐賀県
	部署名	健康福祉部 障害福祉課 就労支援室
	電話連絡先	0952-25-7389

事業名	授産事業パワーアップ支援事業「デザイン等魅力向上事業」
-----	-----------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

**【事業目的】**

障害者が地域社会で自立した生活を営めるよう、県内の障害福祉サービス事業所のうち、工賃収入の安定確保及び向上に取り組んでいる就労継続支援B型事業所及び別途定める要件を満たしている就労継続支援A型事業所(以下、「事業所等」という。)に対して、専門家を招聘・派遣し、商品、パッケージ等の開発・改良支援等を行う。

**【実施時期】**

令和6年6月12日～令和7年3月31日まで

**【実施内容】**

- ① 専門家によるサポート体制の構築  
市場のニーズを捉えた商品等ブランドの構築、商品開発、販路開拓等に関する監修についての経験と実績を有する専門家(クリエイター等)を選定。
- ② 商品開発・プロモーション支援  
選定した専門家が対象となる障害福祉事業所を訪問し、次の支援を行う。  
※可能な限りサステナブルな視点に配慮して進める。  
ア 商品開発支援  
事業所の希望や課題を丁寧にヒアリングし、事業所等が持つ技術や強み等を活かしながら、新規商品の開発、既存商品のブラッシュアップ、パッケージ改良等の支援を行う。  
(試作品の製作に必要な費用も、本事業で負担する。)  
イ 動画制作  
当事業において開発した商品等及び開発に至るプロセスやストーリーを紹介するPR動画を制作。
- ③ 成果発表会  
障害福祉施設の販売会において、開発した商品の成果発表及び商品開発等が途中の場合は中間報告を行う。

**【参加事業所】**

5事業所

**【開発商品例】**

(開発前)



(開発後)



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
令和6年度で事業終了	令和3年度	5,500千円

佐賀県	機関名	佐賀県窯業技術センター	
	部署名	デザイン部	
	電話連絡先	0955-43-2185	
事業名	アドバイザー委託事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>○目的 平成 26 年度から 3 か年にわたって実施した有田焼 400 年事業により、有田焼産地再生に向けた方向性を見出すことができたが、その流れをさらに発展させ、事業化支援事業(窯業技術センターが地元陶磁器業界企業、クリエイター、クライアント等を結ぶハブ的機能を果たしながら、企画から流通までの一貫したモノづくりプロセスを支援するもの)のより効果的な事業展開を図るため、陶磁器ビジネスの事業化に関し豊かなノウハウを有する人材をアドバイザーとして招聘し、事業化支援事業の業務を委託する。</p> <p>○期間 令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日</p> <p>○事業内容</p> <p>①事業化支援外部アドバイザー関係 デザイン、製造、流通に至るまでの商品開発の各プロセスにおけるアドバイス 窯元、商社との関係者を結ぶコーディネートに関すること 産地外部のデザイナー、企業等の紹介、仲介</p> <p>②事業化支援セミナー関係 伊万里・有田焼産地内での商品開発にすぐに運用できるようなテーマの設定、テーマに適した講師の紹介、仲介</p> <p>③研究課題関係 窯業技術センターで実施する経常研究・支援事業「事業化支援関連」に関する助言、指導に関すること</p> <p>④職員指導関係 上記を通じた、職員への事業化支援ノウハウに対する助言、指導に関すること</p>			
令和 7 年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和 29 年度	5,159 千円

佐賀県	機関名	佐賀県窯業技術センター
	部署名	デザイン部
	電話連絡先	0955-43-2185

事業名	陶磁器デザインアプリケーション「iroe」(いろえ)の運用
-----	-------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

○目的

佐賀県陶磁器産地の特色である、職人による伝統的な絵付けや文様、美しい絵具の色を未来へ発展・継承していくため、陶磁器専用のデザインアプリを開発した。その利用促進のため、アプリの機能更新と運用に取り組む。

○アプリケーションの概要

陶磁器専用のデザインアプリとして、カラーデータベースの色見本を搭載し、さらにその色で絵付けや伝統的な絵柄を自由にレイアウトできる機能を実装。窯業関係者が開発段階での色検討やデザインに用いることができ、また一般の方やお子様でも、陶磁器の絵付けを楽しむことができる。実際の陶磁器の製造工程に沿って絵付けを進める工程になっており、デジタルやきもの体験を楽しむことができる。(令和5年4月リリース済。)

○事業の内容

機能の追加・アップデート、また SNS での情報発信を行う。今後、先進的な産地づくりの取り組みとして、産地全体の体制づくりを検討し、伝統産地の技術と人材を活かしたもののづくりにつなげる事業へと発展させるための支援を行う。



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和3年度	3,071千円

<b>佐賀県</b>	機関名	佐賀県
	部署名	産業労働部産業政策課
	電話連絡先	0952-25-7182

事業名	クリエイティブ・サガ事業
-----	--------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

■目的

県内企業のクリエイティブ活用促進と県内クリエイターの見える化に加え、双方の理解促進やマッチング支援等に段階的に取り組むことにより、県内におけるクリエイティブ産業の振興を図る。

※当事業におけるクリエイターとは、デザイナーやディレクター等企業の課題解決や高付加価値化に寄与するものをいう

■事業概要

- (1) 県内クリエイターの認知度向上及び情報発信のための Web サイト制作及び運用・保守業務
- (2) クリエイティブ利活用促進のためのデザインスクール開催業務
- (3) 県内企業のクリエイティブ活用初回相談無料によるお試しマッチングを実施
- (4) 県内クリエイターが関わった商品等の展示会の開催

■実施時期

令和6年4月1日～令和7年3月31日

■実施内容

(1) 公式サイト『SAGA CREATIVE HUB』開設 <https://sagacreativehub.pref.saga.lg.jp/>  
 県内クリエイターの実績や活動分野等、協業事例、スクール・イベント開催情報等の情報発信

(2) デザインを軸とした学びの場『SAGA CREATIVE SCHOOL』の開催

- ・座学及びワークショップを通じた体験型スクール
- ・全12回開催
- ・合計241名参加

(3) 県内クリエイターとの初回相談無料お試しマッチング

県内の14事業者が活用

(4) 県内最大集客イベント「SAGA ものすごフェスタ 10」にてデザイン PR ブース出展

「事業者×県内デザイナー」の取組好事例22例を展示し、多様な業界におけるデザインの具体的な活用事例を紹介

SAGA CREATIVE HUB

HOME サガクリエイティブハブについて クリエイター 協業事例 サガクリエイティブスクール お問い合わせ

クリエイター検索 クリエイター一覧

**SAGA CREATIVE HUB**


**デザインで未来を拓く。**

デザインは単なる見た目やカタチにとどまらず、課題解決や価値向上にも大きな役割を果たします。事業者が競争力を高め、持続的に発展するために、クリエイターとの協業を推進します。

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和6年度	R6年度 13,559千円

佐賀県	機関名	佐賀県工業技術センター	
	部署名	分室 諸富デザインセンター	
	電話連絡先	0952-47-5601	
事業名	技術ワークショップ事業「デザイン活用研究会」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>【事業目的】</p> <p>県内企業の商品開発力向上や企業経営、新商品・サービス開発において重要となる、デザイン活用の考え方や活用手法の修得</p> <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デザイン思考を活用した新商品開発の考え方や手法に関する講習会及び実習等</li> <li>・企業活動におけるデザイン技術の活用に関する講習会及び実習等</li> <li>・中小業におけるブランド構築に関する講習会及び実習等</li> </ul> <p>【活動内容】</p> <p>○工業技術センター デザイン担当者が講師、ファシリテーターとして開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建具製造技術を応用した商品開発、新分野進出について…令和7年7月9日</li> <li>・県産材、端材等を活用した玩具、体験型遊具の企画……令和7年9月8日</li> <li>・異業種、デザイナーのものづくり取り組み状況についての情報交換……令和7年12月15日</li> </ul> <p>○外部講師を招いてのセミナー形式での開催</p> <p>『「生成 AI×デザイン」×ものづくり』— 商品企画・デザイン開発における AI 活用の最前線……令和8年1月26日</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和元年度	714 千円

熊本県	機関名	熊本県産業技術センター	
	部署名	技術交流企画室	
	電話連絡先	096-368-2101	
事業名	技術相談／カスタムメイド試験研究事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>熊本県産業技術センターでは、県内企業の商品開発、新規事業創出等において、デザイン思考による開発技術(デザイン開発技術)を導入する支援を行っています。</p> <p>『デザイン開発技術』※とは？  製品の審美性のみならず、ユーザーが求める価値、使用によって得られる新たな経験の実現・経験の質的な向上等を追求することにより、製品自体の優位性に加え、製品と人、製品と社会との相互作用的な関わりも含めた価値創造に繋がる総合的な設計技術。</p> <p>※特定ものづくり基盤技術 デザイン開発にかかる技術 概要(中小企業庁のホームページ)より  <a href="https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/sapoin/download/shishin/2018/j01.pdf">https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/sapoin/download/shishin/2018/j01.pdf</a> (熊本県産業技術センターの事例も掲載)</p> <p>○技術相談  商品開発やブランド創出等に関する相談全般について対応しています。これから新たに商品開発やブランド創出等に取り組みたいと考えている企業の方、現在、すでに取り組んでおり、問題や悩みを抱えている企業の方等からの相談を受け付けています。</p> <p>○カスタムメイド試験研究事業  熊本県産業技術センターが、研究開発、測定・分析、技術者研修等に関する企業からの要望に応え、受託料を受けて実施する事業です。デザイン分野では、県内企業の商品開発、ブランド創出、ユーザビリティ評価等に関するテーマを受け付けています。</p> <p>【事業に関する情報が掲載されているサイト】  <a href="https://www.kumamoto-iri.jp/support/guidance.html">https://www.kumamoto-iri.jp/support/guidance.html</a></p> <p>【デザインに関する情報、及び相談窓口が掲載されているサイト】  <a href="https://www.kumamoto-iri.jp/etc/dyb/aq.html">https://www.kumamoto-iri.jp/etc/dyb/aq.html</a></p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
令和7年度も継続して実施		-	-

熊本県	機関名	熊本県産業技術センター	
	部署名	技術交流企画室	
	電話連絡先	096-368-2101	
事業名	技術普及講習会(産業デザイン関連)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>県内企業に対し、ブランド創出から商品企画・開発などデザイン関連の最新の技術情報を普及するために、外部講師の協力等による最新技術の普及セミナー等を行っています。</p> <p>特に、デザイン思考やブランディングデザインに関する手法、事例を提供することで、デザインの必要性や価値について、体験してもらい、感じてもらうためのセミナーやワークショップを開催しています。</p> <p>○過去に開催したテーマの事例(一部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ランチェスター経営戦略 (中小規模事業者ならではの経営戦略)</li> <li>・ビジネスモデルキャンバス</li> <li>・極端思考発想法</li> <li>・インクルーシブデザイン</li> <li>・ゲームニクス</li> <li>・ブランディングデザイン</li> <li>・「行為のデザイン」思考法</li> </ul>			
 <p>講習会の様子</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
令和7年度も継続して実施		-	-

<b>熊本県</b>	機関名	天草市
	部署名	経済部産業政策課
	電話連絡先	0969-32-6786

事業名	天草市デザイン経営強化・人材育成等事業
-----	---------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

市内の事業者の競争力向上を図るため、経営戦略にデザイン思考を取り入れ、企業の抱える課題を解決しイノベーションを起こす経営とデザインを一体化した「デザイン経営」の導入を促進する。本事業では、事業者のデザインに対する意識改革と市内デザイナーの育成を行うとともに、市内企業と市内デザイナーをマッチングし、事業者のデザイン経営戦略の土台を作るところまでを支援する。

【事業内容】

○天草デザイン経営導入促進シンポジウムの開催

- 《日 時》令和6年7月8日(月)13時～16時
- 《会 場》天草市複合施設こくらす
- 《テーマ》課題を希望に変える経営
- 《講 師》博報堂ケトル チーフプロデューサー 日野昌暢 氏  
株式会社ボータレス・ジャパン 田口一成 氏
- 《参加人数》65名
- 《実施団体》天草市産業政策課

○天草デザインプロデューサー道場の開催

- 《日 時》令和6年8月22日、23日、9月30日、10月1日、11月7日、8日、12月16日 各日4時間
- 《会 場》天草市役所庁内会議室
- 《内 容》7日間の講座を通じて、デザインの力で経営を変え、現状を打破する事業を生み、生き残る経営手法に取り組む事業者及びその事業者を支援するデザインプロデューサー人材を育成する。

《メイン講師》

博報堂ケトル チーフプロデューサー 日野昌暢 氏

《ゲスト講師》

- (有)宮川洋蘭 宮川将人 氏
- (株)かつあき 佐藤かつあき 氏
- 編集者/コピーライター/ライター 福永あずさ氏
- 景色デザイン室 古庄悠泰 氏
- うきはの宝(株) 大熊充 氏
- ローカルジャーナリスト 田中輝美 氏
- (株)シークルーズ 瀬崎公介 氏
- 《参加人数》15名
- 《実施団体》天草市産業政策課



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和3年度	2,845千円

大分県	機関名	大分県
	部署名	商工観光労働部 経営創造・金融課
	電話連絡先	097-506-3232

事業名	おおいたクリエイティブ活用促進事業「OITA CREATIVE CROSSING」
-----	---

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

大分県では、優れた技術やノウハウを持つ県内の企業と、最先端の技術や、豊かな発想・感性を持ち、企業に対してその能力、技術を発揮できるクリエイターが交流し、コラボレーション(協働)することで、競争力の高い商品・サービスの創出や、新規マーケットの開拓等に繋げることを目的とした、おおいたクリエイティブ活用促進事業に取り組んでいる。

①支援機関向けセミナー

県内企業と繋がりが深い支援機関(商工会議所等)を対象にセミナーを開催。  
クリエイティブの重要性や成功事例を紹介し、県内企業に対してクリエイティブの活用を後押しする人材の育成を図る。

○セミナー概要

- 第1回 2024.6.21(金) 13:15~16:45 J:COM ホルトホール大分(大分市)  
講師 株式会社大川印刷 代表取締役 大川 哲郎氏 「経営とデザインと社会課題」  
株式会社くだものかふえ 代表取締役社長 小野寺 聡氏 「地域資源の活用を異なる視点で」
- 第2回 2024.7.12(金) 13:15~16:45 ビーコンプラザ(別府市)  
講師 トランクデザイン株式会社 代表取締役 堀内 康広氏 「企業を変えるデザインのあり方」  
株式会社スクワットデザイン 代表取締役 高橋 哲平氏 「企業の人材獲得とクリエイティブ活用」  
×  
大分交通株式会社

○参加者数

第1回 19人 第2回 28人

②県内企業とクリエイターとのマッチングイベント

県内企業の課題を探るワークショップとクリエイターとのマッチングイベントを開催。

○イベント概要

- 第1回 2024.8.2(金) 9:00~17:00 J:COM ホルトホール大分(大分市)  
第2回 2024.8.21(水) 9:00~17:00 J:COM ホルトホール大分(大分市)  
第3回 2024.8.31(土) 13:00~17:00 J:COM ホルトホール大分(大分市)  
講師 株式会社エムエスディ取締役 浅野 高光氏

○参加者

第1回 17人 第2回 36人 第3回 12人



③大分県新価値創出支援補助金

県内企業がクリエイターと協働して付加価値の向上(自社商品のリブランディング等)に取り組む事業に対し経費を補助。

○補助金概要

通常枠 補助率 1/3・上限 300 千円 賃上げ枠 補助率 1/3・上限 400 千円

④成果発表会「OITA CREATIVE CROSSING DAY」

クリエイティブの活用に関する講演や③での事例発表、県内クリエイターによるピッチイベントを開催。

○イベント概要

2025.2.23(日) 13:00~17:15 大分県庁舎新館 14 階 大会議室(大分市)  
講師 shokolatt 代表 鶴本 晶子氏「見えない未来を切り開く、愛される企業ヴィジヨナリーブランディング」

○参加者

55名

⑥HP

<https://occ.oitacreative-college.jp/>

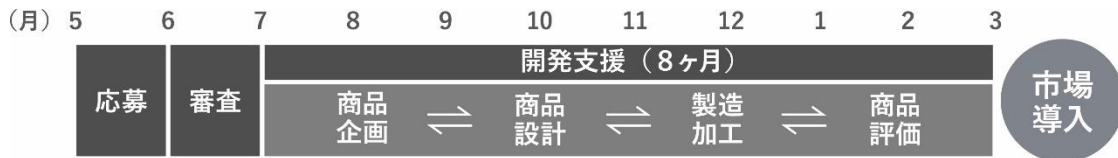
令和7年度実施予定	開始年度	予算額
一部変更して実施	令和6年度	11,386千円

大分県	機関名	大分県産業科学技術センター
	部署名	機械・デザイン担当
	電話連絡先	097-596-7101

事業名	商品化プロデュース支援事業
-----	---------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

1. 事業目的  
県内企業の商品開発課題の各段階(商品企画、商品設計、製造加工、販路開拓)において、的確な支援を実施することにより、市場競争力のある商品を創出し、経営資源としての「デザイン」を定着させ、商品企画力・開発力を持った企業を育成することを目的としています。
2. 実施主体  
大分県
3. 事業内容  
対象:県内に事業所を有する中小企業／小規模事業者(個人・法人・団体ほか)  
募集件数:4件  
内容:  
・各社の開発方針や段階に合わせて、企画・設計・製造・評価等を月1~2回の開発会議にて進行します。  
・期間内は、商品開発の実績のある専門アドバイザー\*から個別指導を複数回受けることができます。  
\*バイヤー・メーカー・プロデューサー・ディレクター・デザイナー・中小企業診断士・各種専門技術者




<参考 URL>

<https://www.oita-ri.jp/kakutantou/kikaidezain/>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施中	令和2年度	1,663千円

大分県	機関名	大分市	
	部署名	商工労働観光部商工労政課	
	電話連絡先	097-585-6011	
事業名	大分市クリエイティブ産業育成事業「おおいたデザイン・エイド」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>大分市では、「クリエイティブ産業の裾野の拡大」「市内クリエイターの育成」「クリエイターの発想・技術を活用した企業の販路拡大」を図ることを目的に、クリエイティブ産業育成事業「おおいたデザイン・エイド」を実施しています。</p> <p>1. デザイン経営キャンプ  全6回のワークショップでデザイン経営を実践的に学べる「デザイン経営キャンプ」を実施。中小企業の事業者とクリエイターでチームを編成し、ワークショップを通じ、ブランド向上やイノベーションの創出を目指す事業プランを組み立てる短期集中プログラムです。6回目のワークショップでは、組み立てた事業プランの発表及びコンテストの審査会を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スケジュール <ul style="list-style-type: none"> <li>2024年9月17日 デザイン経営基礎講座(事前セミナー) 講師:山田 遊氏 参加者:27名</li> <li>2024年10月23日 第1回 チーム編成 16名(実践コース10名/聴講コース4名/アドバイザー2名)</li> <li>2024年10月23日 第2回 課題の抽出</li> <li>2024年11月13日 第3回 事業構想の組み立て</li> <li>2024年12月6日 第4回 講評会</li> <li>2024年12月6日 第5回 ブラッシュアップ</li> <li>2025年1月24日 第6回 プレゼンテーション・コンテスト</li> </ul> </li> </ul> <p>2. 次代のクリエイター発掘！ソーシャルデザインコンテスト  本市事業に関するデザイン等を課題として、県内の学生やクリエイターから課題解決のアイデア(デザイン作品)を募集し、優秀作品を選定し、表彰式で表彰します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>応募作品:82点(うち7点表彰)</li> </ul> <p>3. おおいたデザイン・エイド 2024 表彰式・展示会  公開プレゼンテーションで決定した1組の最優秀賞の表彰、および各作品の評価ポイントや審査員による講評とともに、ビジネスとデザインが会うことによって期待できる変化などをわかりやすく、説明しました。また、同会場でパネルでの展示会も行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表彰式 <ul style="list-style-type: none"> <li>2025年2月22日</li> </ul> </li> <li>展示会 <ul style="list-style-type: none"> <li>2025年2月22日～28日</li> </ul> </li> </ul>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
令和6年度で事業終了		平成30年度	9,994千円



宮崎県	機関名	工業技術センター	
	部署名	企画・デザイン部	
	電話連絡先	0985-74-4311	
事業名	企業技術支援事業(商業デザインに関する研究)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
県内中小企業等の商品開発やデザイン開発力向上を図るため、顧客の視点・ニーズを取り入れた、実践的なデザイン技術支援を行う。			
1	県内企業の新商品開発や食品パッケージデザインなど地域企業のブランド開発支援		
2	県内地域資源活用や技術特性を活かした新製品開発へのデザイン支援		
3	県内企業訪問によるデザイン支援		
4	技術相談や設備利用の技術支援 等		
5	令和6年度デザインセミナー 「商品をもっと広めたい人のための売り方デザインセミナー」 期 日:令和7年3月5日(水) 場 所:宮崎県工業技術センター 講 師:株式会社チーグッド・デザイン 関屋千草 氏 (参加総数:23名)		
			
	(セミナーの様子)		
<参考 URL> <a href="https://www.iri.pref.miyazaki.jp/">https://www.iri.pref.miyazaki.jp/</a>			
	令和7年度実施予定	開始年度	予算額
	継続して実施予定	平成12年度	716千円

宮崎県	機関名	宮崎県
	部署名	商工観光労働部企業振興課
	電話連絡先	商工観光労働部企業振興課 0985-26-7095 みやざきフードビジネス相談ステーション 0985-89-4452
事業名	フードビジネス支援体制強化事業	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

フードビジネスに取り組む事業者からの様々な相談に適切に対応するため、ワンストップの総合相談窓口として「みやざきフードビジネス相談ステーション」を設置し、関係支援機関とも連携を図りながら、事業者の事業拡大等の支援を行っている。

- デザイナーズバンクの設置  
 フードビジネスに取り組む事業者からのデザインに関する相談に対して、みやざきフードビジネス相談ステーションのデザイナーズバンクに登録されているデザイナーを紹介。  
 登録デザイナー数:30 者  
 対象デザイン:加工品や青果物のパッケージデザイン、POP や販促資材に係るデザイン、リーフレットやウェブデザインなど  
 デザインに関する相談件数:34 件/令和6年度実績(全相談件数 1,994 件)
- その他  
 本事業は、公益財団法人宮崎県産業振興機構に委託して実施している。  
 本事業に係る情報が掲載されている URL:  
<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kigyoshinko/shigoto/foodbusiness/20240610113011.html> (宮崎県 HP)  
<https://food.mepo.or.jp/> (みやざきフードビジネス相談ステーション HP)

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成25年度	60,332千円

<b>鹿児島県</b>	機関名	鹿児島県工業技術センター
	部署名	企画支援部, 地域資源部シラス研究開発室
	電話連絡先	0995-43-5111

事業名	環境・生活・デザイン技術開発研究事業「薩摩焼割付文様を利用した工芸品の開発」
-----	--

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

■事業概要

鹿児島県工業技術センターでは、県内企業の製造技術の向上を図るために工業デザインや工芸品に関する技術相談、依頼分析・試験等の技術支援と研究開発を行う。

■事業目的

薩摩焼割付文様は、主に白薩摩の上絵に用いられる金彩を用いた幾何学の文様である。古くは江戸時代より現代まで描かれており、現存する鹿児島の工芸品において、最も古い文様の1つであると言える。しかし、白薩摩焼の窯元の減少と、窯元が新規文様を創出する機会の減少により、描かれる機会が減ってきている。そこで、白薩摩の割付文様について調査・研究し、文様をデータ化・図形化する手法を研究する。

さらに近年開発された「かごんまの色®」などを複合利用することで、新規文様および薩摩焼の新商品創出に向けた取り組みを行う。また、薩摩焼割付文様と当センター所有のレーザー加工機の切断、彫刻、ケガキ彫刻を利用して、薩摩焼だけでなく、他の工芸品へ文様を展開した工芸品の開発を行う。

■令和6年度実施内容

- ① 割付文様を利用した木製品への展開
  - ・当センターのレーザー加工機を使い、自社の木製品(折敷)へ割付文様で加飾を施し、商品化を行い、展示会等でインバウンド客に好評を得ている。
  - ・かごしまの新特産品コンクール 2024 鹿児島市長賞受賞。
- ② 割付文様を利用した白薩摩への展開
  - ・白薩摩の特徴の一つである絵付けに、従来の割付文様やそれらを掛け合わせた新規図柄を利用し、豆皿やアクセサリ等の新商品開発を行った。
  - ・かごしまの新特産品コンクール 2025 鹿児島県知事賞受賞。(アクセサリ)



<参考 URL>

<https://www.kagoshima-it.jp/>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
令和6年度で事業終了	令和4年度	—

鹿児島県	機関名	鹿児島市
	部署名	産業局産業振興部産業創出課
	電話連絡先	099-216-1319

事業名	かごしまクリエイター成長促進事業
-----	------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

デザイナーなど、製品の高付加価値化等に必要市内クリエイターの活用に係る経費を助成するとともに、その成長を促進するため、市内で活動する多様なクリエイターが集い、ビジネススキルの向上やビジネスマッチング、クリエイター同士の交流を深めるための複合型イベント「MEIZAN CREATIVE DAYS」を開催する。

■MEIZAN CREATIVE DAYS

- (1) 開催時期 令和6年10月18日～19日
- (2) 開催場所 mark MEIZAN、名山町周辺ギャラリー等
- (3) 参加対象 市内のクリエイター、企業担当者など
- (4) 参加人数 524名(延べ人数)

(5) 内容等

- ・地元クリエイターによるトークセッション
- ・市内企業向けデザイン経営セミナー
- ・クリエイター向けビジネススキル向上セミナー
- ・著名クリエイターによるトークイベント
- ・参加者交流会
- ・市内クリエイター作品展覧会(mark MEIZAN 施設内及び施設周辺のギャラリー等3か所で開催)



MEIZAN CREATIVE DAYS

■鹿児島市クリエイター活用促進補助金

- (1) 補助対象者 本市に本店を有する法人又は本市に住所を有する個人事業主
- (2) 補助対象経費 事業にクリエイティブの要素を取り入れ、商品やサービス等の開発や改良をするために、鹿児島市内のクリエイターに発注する際に要する経費
- (3) 補助上限 20万円(補助率:1/2以内)
- (4) 補助件数 5件

■「鹿児島市クリエイターズデータベース」の作成

鹿児島市内で活躍するクリエイターの取組内容を広く周知するとともに、市内クリエイターと市内外の企業とのマッチング機会を創出することを目的に、鹿児島市ホームページにおいて、趣旨に賛同した市内クリエイターの情報を掲載するもの

- ・登録クリエイター数(令和6年度末時点):33事業者
- ・鹿児島市クリエイターズデータベース URL:  
<https://www.city.kagoshima.lg.jp/san-sousyutu/sangyo/shokogyo/design/creatordatabase.html>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和6年度	5,200千円

鹿児島県	機関名	鹿児島市
	部署名	産業局産業振興部産業創出課
	電話連絡先	099-216-1319

事業名	クリエイティブ人材誘致事業
-----	---------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

クリエイティブ産業の振興及び集積促進を図るため、UIJ ターンイベントを開催する等、首都圏等に集中しているクリエイティブ人材を誘致する取組みを行う。

■UIJ ターンイベントの開催

東京、大阪、福岡にて、本市の移住関連施策等の説明、鹿児島在住クリエイター等によるトークセッションや作品等の紹介、交流会などを開催し、移住に関心のある方々との交流を図る。

【大阪】日時:令和6年9月5日(木)19時~21時30分

場所:MOTON PLACE(大阪市)

参加者:会場14名

【東京】日時:令和6年9月30日(月)19時~21時30分

場所:LOFT HEAVEN(渋谷区)

参加者:会場13名、オンライン13名

【福岡】日時:令和6年10月17日(木)19時~21時30分

場所:CafeBar Cloud(福岡市)

参加者:会場7名

■お試し移住プログラムの開催

鹿児島市への移住を検討されているクリエイターの方を対象に、クリエイティブ産業創出拠点施設「mark MEIZAN」でのリモートワークや市内企業での副業体験、市内で活動するクリエイターとの交流会などを通じて、鹿児島市の生活環境やビジネス環境を体感していただくプログラム。

○日時:令和7年2月6日(木)~2月10日(月) ○参加者:9名

■移住クリエイター交流会

鹿児島市へ移住したクリエイターを対象に、コミュニティ形成支援やビジネスマッチングの機会を提供することを目的として、年2回の交流会を開催する。

○1回目 日時:令和6年6月18日(火) 参加者:10名

○2回目 日時:令和6年2月7日(金) 参加者:25名

■クリエイティブ人材誘致事業補助金

首都圏等に集中しているクリエイティブ人材が鹿児島市へ移住された場合に、移住に要する経費に対して補助を行う。

○補助対象:事業所改修費用及び設備投資費用

○応募資格:クリエイター(情報通信、映像・コンテンツ制作、デザイン、芸術)、

プロデューサー又はディレクター(クリエイターとともにビジネスを行う者)

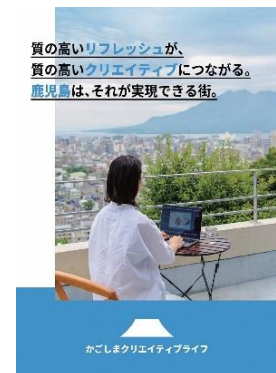
○補助額:1件あたり10万円を限度とする

○補助率:補助対象経費の2分の1

○補助実績:0件

<参考 URL>

<https://www.city.kagoshima.lg.jp/san-sousyutu/sangyo/shokogyo/design/creative-life2020.html>



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
一部継続して実施予定	平成28年度	7,841千円

<b>鹿児島県</b>	機関名	鹿児島市	
	部署名	産業局産業振興部産業創出課	
	電話連絡先	099-216-1319	
事業名	クリエイティブ産業創出拠点施設(mark MEIZAN)企画運営事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>クリエイティブ産業の振興を図り、地域経済の活性化に資するため、クリエイティブ人材等の育成、多様な事業者等との交流等を行う拠点施設「mark MEIZAN」の企画運営を行う。</p> <p>■施設の基本的機能</p> <p>(1) クリエイティブ人材育成  ・クリエイティブ人材育成セミナー等の開催、ビジネスマッチングイベントの開催 等</p> <p>(2) コミュニティ形成  ・コミュニティ形成のためのイベント及びワークショップの開催、クリエイターを巻き込んだ施設の企画運営会議の開催 等</p> <p>(3) スタートアップ支援  ・スタートアップ支援プログラムの企画・運営、スタートアップ相談支援 等</p> <p>(4) 入居者等の支援  ・入居者や来館者等とのコミュニティ形成を支援するイベント等の開催</p> <p>(5) 情報発信  ・施設専用 WEB サイト運営、SNS 等による情報発信 等</p> <p>■入居室等 ①入居室 24 室 ②シェアオフィス 6 スペース</p> <p>■交流スペース利用登録者数 4,465 名(平成 31 年 2 月～令和 7 年 3 月末)</p> <p>■セミナー・ワークショップ・ビジネスマッチングイベント  ・セミナー 11 回 ・ビジネスマッチングイベント 2 回 ・コミュニティ形成イベント 24 回、  スタートアップ支援プログラム 4 回</p>			
			
			
<参考 URL> <a href="https://www.city.kagoshima.lg.jp/san-sousyutu/sangyo/shokogyo/design/mark-meizan.html">https://www.city.kagoshima.lg.jp/san-sousyutu/sangyo/shokogyo/design/mark-meizan.html</a>			
	令和7年度実施予定	開始年度	予算額
	継続して実施予定	平成 30 年度	159,233 千円